

取扱説明書

ZETA リアショック エンドキャップ

この度は、ZETA商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みになって、取付作業を行って下さい。

注意事項

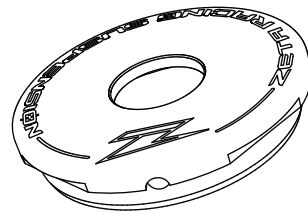
取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となります。
作業内容に不安がある場合は、サスペンションプロショップにご相談、ご依頼ください。
サスペンションの車体からの取り外し・取り付け、本体の分解・組立て作業は各車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し作業を行って下さい。
異常が認められた場合は作業を中断し、弊社までお問合せ下さい。
製品に加工、改造は行わないで下さい。事故や破損の原因となります。
作業時は保護メガネ等を使用し、ケガのないように注意してください。

取付方法

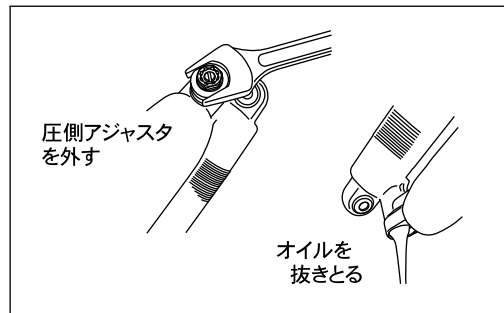
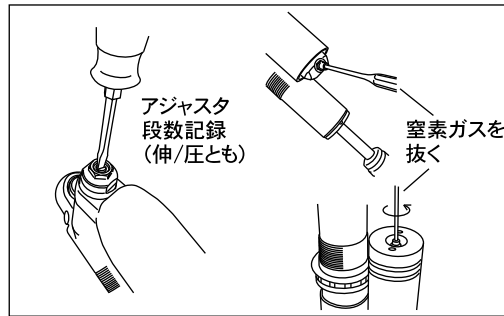
作業手順

- 車両からリアショックを取り外します。
※スプリング取り外しまでの作業手順は各車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照して下さい。
- 分解前に伸側/圧側アジャスタのクリック数を記録した後、すべてのアジャスタを全開にします。
- 〈KYB/SHOWAのみ〉
サブタンク下側のバルブを押し、窒素ガスを抜きます。
〈WPのみ〉
プラグをゆっくり緩めながら窒素ガスを抜き、プラグを外します。
- スパナ等を使用し圧側アジャスタをゆっくり外します。
※内部に圧力が残っているとオイルが噴出します。
必ず窒素ガスを全て抜いたことを確認し、保護メガネを使用し慎重に作業してください。
- オイルを抜き取ります。

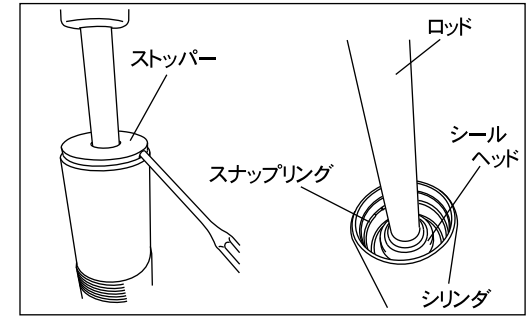
キット内容



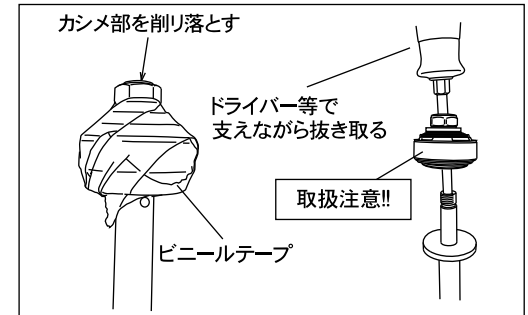
エンドキャップ×1



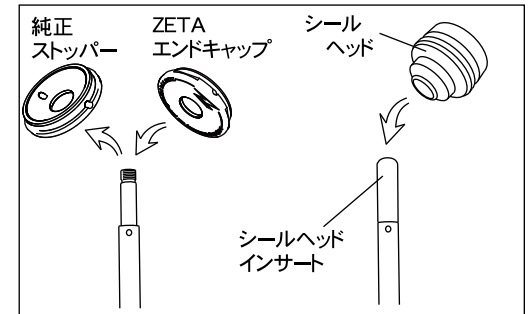
- ピンポンチ等を使用し、ストッパーの切り欠き部をプラスチックハンマーで叩き上げ、ストッパーを外します。
- DRCシールヘッドブッシュ(品番;D59-37-166)等を使用し、シールヘッドを押し下げます。
- スナップリングを外します。
- ロッドを引っ張り、シリンダからピストンロッドASSYを引き抜きます。



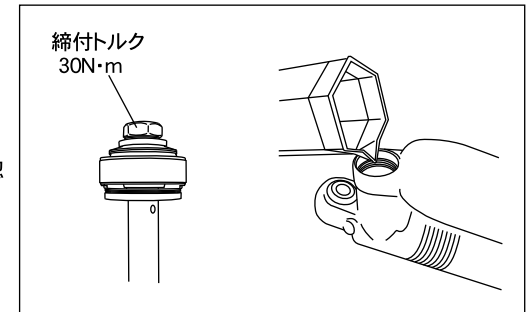
- ロッド先端がガシメられている場合はサンダー等を使用し、ピストンロッド先端のカシメ部を削り落とします。
※削り粉等が噛み込まないように、ピストン周辺をビニールテープ等で巻き保護してください。
- ナットを緩め、ワッシャー・リーフバルブ・ピストン、サポートワッシャー、シールヘッドを抜き取ります。
※ピストンの脱着の際には、リーフバルブの順番が絶対に変わらないように注意してください。
万が一変わってしまうとサスペンション自体の本来の性能が発揮できなくなります。



- 純正ストッパーとZETAエンドキャップを差し替えます。
- ロッドにシールヘッドインサート(品番;D59-37-135)を取り付け、シールヘッドを取り付けます。
※シールヘッドインサートを使用しないと、シールヘッドのシールが切れてしまい重大な事故になる可能性があります。必ず使用して組み立ててください。



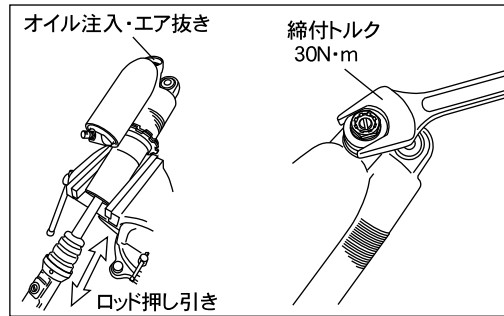
- サポートワッシャー、リーフバルブ・ピストン・ワッシャーを戻しナットを30N・mで締めます。
※緩み防止の為、ネジ部にネジロック剤を塗布してください。
- 分解した逆の手順でリアショックを組み立てます。
※スナップリングが確実にリング溝にはまっているか確認してください。
確実ににはまっていないとガス封入時や走行時に分解しケガや事故に繋がる可能性があります。
- 圧側アジャスタ穴からショックオイルを注入します。



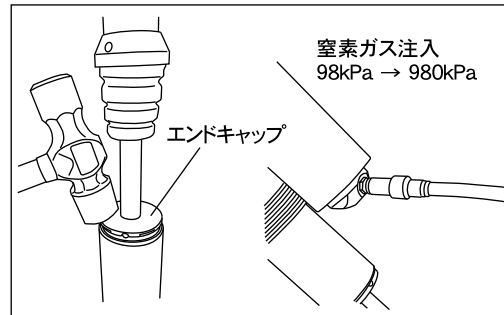
- 17)ピストンロッドを押し引きしながらオイルを注入します。
- 18)オイルがいっぱいになったら、再度ピストンロッドを押し引きし内部に溜まったエアを押し出します。
- 19)DRC ブリードカップを使用するとスムーズに作業することができます。

DRC ブリードカップ 品番;D59-37-160(KYB)
D59-37-158(SHOWA)
D59-37-159(SHOWA)

- 20)エアが出てこなくなったら、圧側アジャスタを取り付けます(締付トルク30N・m)。



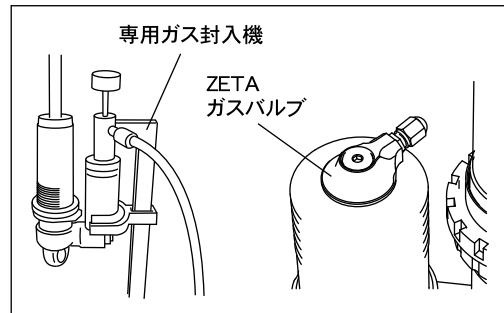
- 21)プラスチックハンマーを使用し、エンドキャップを叩きながらはめ込みます。
- 22)サブタンク下部のバルブから窒素ガスを98kPa封入し、オイル漏れ・ガス漏れがないか確認します。
- 23)異常がなければ980KPa(WPIは1000KPa)まで窒素ガスを封入します。
- 24)ガスホースを外し、ショック本体の動作を確認します。ピストンロッドを押し込み、開放した時に確実に伸び切ることを確認してください。



WPのリアショックに窒素ガスを封入する際には専用のガス封入機が必要になります。

ZETAのガスバルブを使用すると、通常の米式バルブで封入することができます。

ZETA ガスバルブ 品番;ZE56-51058/ZE56-51064



- 25)アジャスタを記録した数値に合わせます。
- 26)スプリングをリアショック本体に取り付けます。
- 27)リアショック本体を車体に取り付けます。

